様式集

＜記入様式集＞

様式番号	様式名	内容
初動1	参集職員受付簿	参集時間等を記入。
避難1	施設の安全チェックリスト（避難所開設前）	被害状況と安全性を目視確認して記入。
避難2	避難者カード兼人数確認票	避難者の家族や被災状況、配慮事項等を記入。
避難3	避難所利用者名簿	氏名等を記入し、避難所利用者を簡易的に把握。郵便物の受理や来訪者の対応等にも利用。
避難4	避難所開設報告書	避難所開設直後の避難者数等を記入。
避難5	避難所状況報告書	避難者や避難所の状況を記入。
避難6	グループ員リスト	「避難者カード兼人数確認票」を元に、グループごとにまとめたリスト。
避難7	ボランティア派遣要請書	従事業務、必要人数、期間等を記入。
避難8	避難所ボランティア受付簿	直接避難所にボランティアが来た場合に使用。
避難9	救助の種目別物資受払状況	食料や物資の在庫や状態を記入。
避難10	食料依頼伝票兼報告	食料の不足状況を記入。
避難11	物資依頼伝票兼報告	物資の不足状況を記入。
避難12	避難所業務日誌	実施した業務内容を各担当者が記入。
避難13	事務引継書	業務内容や注意点、避難者からの要望等を記入。
避難14	避難所ペット登録カード	ペットの飼い主や種類等を記入。
避難15	ペット飼育者台帳	氏名等を記入し、ペットの飼い主を把握。
避難16	外泊届	氏名、外泊期間等を記入。
避難17	取材者用受付用紙	氏名、連絡先、取材目的等を記入。
—	木造建築物の応急危険度判定調査表	応急危険度判定士が調査し、調査済（緑）、要注意（黄）、危険（赤）の判定を記入。
—	鉄骨造建築物の応急危険度判定調査表	応急危険度判定士が調査し、調査済（緑）、要注意（黄）、危険（赤）の判定を記入。
—	鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物等の応急危険度判定調査表	応急危険度判定士が調査し、調査済（緑）、要注意（黄）、危険（赤）の判定を記入。

集計欄は数字で記入

木

木造建築物の応急危険度判定調査表

整理番号＿＿＿＿＿＿＿＿ 調査日時＿＿＿月＿＿＿日午前・午後＿＿＿時　調査回数＿＿＿回目

調査者氏名（都道府県／No）＿＿＿＿＿＿＿＿（＿＿＿＿／＿＿＿＿＿＿＿＿）

＿＿＿＿＿＿＿＿（＿＿＿＿／＿＿＿＿＿＿＿＿）

整理番号

木造

建築物概要

1　建築物名称＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　1.1　**建築物番号**＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2　建築物所在地＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　2.1　**住宅地図整理番号**＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

3　**建築物用途**　1.戸建て専用住宅　2.長屋住宅　3.共同住宅　4.併用住宅　5.店舗　6.事務所　7.旅館・ホテル　8.庁舎等公共施設　9.病院・診療所　10.保育所　11.工場　12.倉庫　13.学校　14.体育館　15.劇場、遊戯場等　16.その他（　　）

4　**構造形式**　1.在来(軸組)構法 2.枠組(壁)工法(ツーバイフォー) 3.プレファブ 4.その他（　　）

5　**階数**　1.平屋　2.2階建て　3.その他（　　）

6　**建築物規模**　1階寸法　約ア＿＿＿m×イ＿＿＿m

建築物番号

住宅地図整理番号

3

4

5　階

ア　m

イ　m

調査　調査方法：(1.**外観調査のみ実施**　2.**内観調査も併せて実施**)

1　**一見して危険と判定される。**（該当する場合は○を付け危険と判定し調査を終了し**総合判定**へ）

1.建築物全体又は一部の崩壊・落階	2.基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ
3.建築物全体又は一部の著しい傾斜	4.その他（　　）

調査方法

1

2　**隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度**

	Aランク	Bランク	Cランク	
①隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険	1.危険無し	2.不明確	3.危険あり	①
②構造躯体の不同沈下	1.無し又は軽微	2.著しい床、屋根の落ち込み、浮き上がり	3.小屋組の破壊、床全体の沈下	②
③基礎の被害	1.無被害	2.部分的	3.著しい（破壊あり）	③
④建築物の1階の傾斜	1. 1/60以下	2. 1/60～1/20	3. 1/20超	④
⑤壁の被害	1.軽微なひび割れ	2.大きな亀裂、剝落	3.落下の危険有り	⑤
⑥腐食・蟻害の有無	1.ほとんど無し	2.一部の断面欠損	3.著しい断面欠損	⑥
危険度の判定	1.調査済み 全部Aランクの場合（要内観調査）	2.要注意 Bランクが1以上ある場合	3.危険 Cランクが1以上ある場合	判定

3　**落下危険物・転倒危険物に関する危険度**

	Aランク	Bランク	Cランク	
①瓦	1.ほとんど無被害	2.著しいずれ	3.全面的にずれ、破損	①
②窓枠・窓ガラス	1.ほとんど無被害	2.歪み、ひび割れ	3.落下の危険有り	②
③外装材　湿式の場合	1.ほとんど無被害	2.部分的なひび割れ、隙間	3.顕著なひび割れ、剝離	③
④外装材　乾式の場合	1.目地の亀裂程度	2.板に隙間が見られる	3.顕著な目地ずれ、板破壊	④
⑤看板・機器類	1.傾斜無し	2.わずかな傾斜	3.落下の危険有り	⑤
⑥屋外階段	1.傾斜無し	2.わずかな傾斜	3.明瞭な傾斜	⑥
⑦その他（　　）	1.安全	2.要注意	3.危険	⑦
危険度の判定	1.調査済み 全部Aランク	2.要注意 Bランクが1以上ある場合	3.危険 Cランクが1以上ある場合	判定

総合判定（**調査**の**1**で危険と判定された場合は危険、それ以外は**調査**の**2**と**3**の大きい方の危険度で判定する。）

総合判定

1.　**調査済（緑）**　　2.　**要注意（黄）**　　3.　**危険（赤）**

コメント（構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。）

コメントは判定ステッカーの注記と同じとする。

集計欄は数字で記入

S

鉄骨造建築物の応急危険度判定調査表

整理番号＿＿＿＿＿＿＿＿ 調査日時＿＿＿月＿＿＿日午前・午後＿＿＿＿時　調査回数＿＿＿＿回目

調査者氏名（都道府県／No）＿＿＿＿＿＿＿＿（＿＿＿＿／＿＿＿＿＿＿＿＿）

＿＿＿＿＿＿＿＿（＿＿＿＿／＿＿＿＿＿＿＿＿）

整理番号

建築物概要

1　建築物名称＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　1.1　**建築物番号**＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2　建築物所在地＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　2.1　**住宅地図整理番号**＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

3　**建築物用途**　1.戸建て専用住宅　2.長屋住宅　3.共同住宅　4.併用住宅　5.店舗　6.事務所
7.旅館・ホテル　8.庁舎等公共施設　9.病院・診療所　10.保育所　11.工場
12.倉庫　13.学校　14.体育館　15.劇場、遊戯場等　16.その他（　　）

4　**構造形式**　1.ラーメン構造　2.ブレース構造　3.プレファブ　4.その他（　　）

5　**階数**　地上　　階　地下　　階

6　**建築物規模**　1階寸法　約ア＿＿＿＿m×イ＿＿＿＿m

建築物番号

住宅地図整理番号

3

4

地上　階

地下　階

ア　m

イ　m

調査　調査方法：（1.**外観調査のみ実施**　2.**内観調査も併せて実施**）

1　一見して危険と判定される。（該当する場合は○を付け危険と判定し調査を終了し**総合判定**へ）

1.建築物全体又は一部の崩壊・落階	2.基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ
3.建築物全体又は一部の著しい傾斜	4.その他（　　）

調査方法

1

2　隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

		Aランク	Bランク	Cランク	
	①隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険	1.危険無し	2.不明確	3.危険あり	①
	②不同沈下による建築物全体の傾斜	1.1/300以下	2.1/300～1/100	3.1/100超	②
	③建築物全体又は一部の傾斜				③
	傾斜を生じた階の上の階数が1階以下の場合	1.1/100以下	2.1/100～1/30	3.1/30超	被害最大の階
	傾斜を生じた階の上の階数が2階以上の場合	1.1/200以下	2.1/200～1/50	3.1/50超	階
被害最大の階（　階）	**④部材の座屈の有無**	1.無し	2.局部座屈あり	3.全体座屈あるいは著しい局部座屈	④
	⑤筋違の破断率	1．20%以下	2．20%～50%	3．50%超	⑤
	⑥柱梁接合部及び継手の破壊	1.無し	2.一部破断あるいは亀裂	3．20%以上の破断	⑥
	⑦柱脚の破損	1.無し	2.部分的	3.著しい	⑦
	⑧腐食の有無	1.ほとんど無し	2.各所に著しい錆	3.孔所が各所に見られる	⑧
危険度の判定		1.調査済み 全部Aランクの場合(要内観調査)	2.要注意 Bランクが3以内の場合	3.危険 Cランクが1以上又はBランクが4以上	判定

3　落下危険物・転倒危険物に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク	
①屋根材	1.ほとんど無被害	2.著しいずれ	3.全面的にずれ、破損	①
②窓枠・窓ガラス	1.ほとんど無被害	2.歪み、ひび割れ	3.落下の危険有り	②
③外装材　湿式の場合	1.ほとんど無被害	2.部分的なひび割れ、隙間	3.顕著なひび割れ、剝離	③
④外装材　乾式の場合	1.目地の亀裂程度	2.板に隙間が見られる	3.顕著な目地ずれ、板破壊	④
⑤看板・機器類	1.傾斜無し	2.わずかな傾斜	3.落下の危険有り	⑤
⑥屋外階段	1.傾斜無し	2.わずかな傾斜	3.明瞭な傾斜	⑥
⑦その他（　　）	1.安全	2.要注意	3.危険	⑦
危険度の判定	1.調査済み 全部Aランクの場合	2.要注意 Bランクが1以上ある場合	3.危険 Cランクが1以上ある場合	判定

総合判定（**調査**の**1**で危険と判定された場合は危険、それ以外は**調査**の**2**と**3**の大きい方の危険度で判定する。）

1.　調査済（緑）　　2.　要注意（黄）　　3.　危険（赤）

総合判定

コメント（構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。）

コメントは判定ステッカーの注記と同じとする。

S造

集計欄は数字で記入

RC

鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物等の応急危険度判定調査表

整理番号＿＿＿＿＿＿＿＿　調査日時＿＿＿月＿＿＿日午前・午後＿＿＿＿時　調査回数＿＿＿＿回目

調査者氏名（都道府県／No）＿＿＿＿＿＿＿＿　（＿＿＿＿／＿＿＿＿＿＿＿＿）

＿＿＿＿＿＿＿＿　（＿＿＿＿／＿＿＿＿＿＿＿＿）

整理番号

建築物番号

住宅地図整理番号

建築物概要

1　建築物名称＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　1.1　建築物番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2　建築物所在地＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　2.1　住宅地図整理番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

3　建築物用途　1.戸建て専用住宅　2.長屋住宅　3.共同住宅　4.併用住宅　5.店舗　6.事務所　7.旅館・ホテル　8.庁舎等公共施設　9.病院・診療所　10.保育所　11.工場　12.倉庫　13.学校　14.体育館　15.劇場、遊戯場等　16.その他（　　）

4　構造種別　1.鉄筋コンクリート造　2.プレキャストコンクリート造　3.ブロック造　4.鉄骨鉄筋コンクリート造　5.混合構造（＿＿＿＿＿）と（＿＿＿＿＿）

5　階数　地上　　階　地下　　階

6　建築物規模　1階寸法　約ア＿＿＿＿m×イ＿＿＿＿m

3

4

地上　　階

地下　　階

ア　　m

イ　　m

調査　調査方法：（1.外観調査のみ実施　2.内観調査も併せて実施）

調査方法

1　一見して危険と判定される。（該当する場合は○を付け危険と判定し調査を終了し総合判定へ）

1.建築物全体又は一部の崩壊・落階	2.基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ
3.建築物全体又は一部の著しい傾斜	4.その他（　　）

1

2　隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

		Aランク	Bランク	Cランク	
判定(1)	①損傷度Ⅲ以上の損傷部材の有無	1.無し	2.あり		①
判定(2)	②隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険	1.危険なし	2.不明確	3.危険あり	②
	③地盤破壊による建築物全体の沈下	1.0.2m 以下	2.0.2m～1.0m	3.1.0m 超	③
	④不同沈下による建築物全体の傾斜	1.1/60 以下	2.1/60～1/30	3.1/30 超	④
	柱の被害〔下記⑤⑥の調査階（被害最大の階）＿＿＿＿階〕（壁構造の場合は柱を壁の長さに読みかえる）				柱の被害最大の階
	⑤損傷度Ⅴの柱本数／調査柱本数	損傷度Ⅴの柱総数＿＿本　調査柱＿＿本　（調査率＿＿%）			
		1.１%以下	2.１%～10%	3.10%超	⑤
	⑥損傷度Ⅳの柱本数／調査柱本数	損傷度Ⅳの柱総数＿＿本　調査柱＿＿本　（調査率＿＿%）			
		1.10%以下	2.10%～20%	3.20%超	⑥
	判定(2)	1.調査済 全部Aランクの場合	2.要注意 Bランクが１の場合	3.危険 Cランクが１以上又はBランクが２以上	

判定(1)

判定(2)

危険度の判定 判定(1)と判定(2)のうち大きな方の危険度で判定する	1.調査済み （要内観調査）	2.要注意	3.危険

判定

3　落下危険物・転倒危険物に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク	
①窓枠・窓ガラス	1.ほとんど無被害	2.歪み、ひび割れ	3.落下の危険有り	①
②外装材（モルタル・タイル・石貼り等）	1.ほとんど無被害	2.部分的なひび割れ、隙間	3.顕著なひび割れ、剝離	②
③外装材（ALC 板・PC 板・金属・ブロック等）	1.目地の亀裂程度	2.板に隙間が見られる	3.顕著な目地ずれ、板破壊	③
④看板・機器類	1.傾斜無し	2.わずかな傾斜	3.落下の危険有り	④
⑤屋外階段	1.傾斜無し	2.わずかな傾斜	3.明瞭な傾斜	⑤
⑥その他（　　）	1.安全	2.要注意	3.危険	⑥
危険度の判定	1.調査済み 全部Aランクの場合	2.要注意 Bランクが１以上ある場合	3.危険 Cランクが１以上ある場合	

判定

総合判定　（調査の１で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の２と３の大きい方の危険度で判定する。）

1.　調査済（緑）　　2.　要注意（黄）　　3.　危険（赤）

総合判定

コメント（構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。）

コメントは判定ステッカーの注記と同じとする。

RC造